

シンガポール少年少女交流事業

はじめに

テーマ・・・ 観光名所について

テーマ選定の理由

理由は2つあり、1つ目は昔から興味があったからで、直接見ないとわからない良さを知りたかったからです。2つ目はまだ知らない素晴らしい場所と出会えることを期待しているからです。ですがそれと同時に本当はほんの少し「ネット上や自分の周りの人々が言うようにそんなに美しい場所なのかな」という疑いも持っていました。

シンガポールに行く前に調べたこと

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1, マリーナベイ・サンズについて | 3, シンガポール・フライヤーについて |
| 2, マーライオンパークについて | 4, ガーデنز・バイ・ザ・ベイについて |

事前に調べてわかったこと

- 1, シンガポール最初の統合型リゾートであり、世界一高い場所にあるプールがある。
360°の地平線を見ることができる。
- 2, 伝説上の生き物、マーライオンがいる公園である。巨大な海に面しており、対岸にマリーナベイ・サンズが見える。
- 3, 一周約30分のアジア最大の観覧車。カプセル1つの定員が28名であり、合計で同時に最大784名収容できる。カプセル内ではカナッペ、ワイン等、飲食物の提供も行われる。
- 4, 埋立地に作られた約101ヘクタールの国立公園。巨大な植物園であり巨大な人口木々「スーパーツリーグローブ」がある。夜には輝き、美しい景色が見られる。

シンガポールでの調査

シンガポールでの調査でどうやって調査をしたか

- ・ホストファミリーに質問する。
- ・現地に行き、メモにその時感じたことやその場所の様子を書いておく。
- ・写真を撮る

調査を通して

マリーナベイ・サンズ

マリーナベイ・サンズからの景色はとても美しかったです。
人がたくさんいそうと思っていましたが、チケットを用いて混みすぎないように工夫をしていました。夜は輝きを放っていたのですが、マリーナサンズベイ・サンズだけでなく、シンガポール中の建物が光っていました。



マリーナベイ・サンズ



マリーナベイ・サンズからの景色



夜

マーライオンパーク（マーライオン公園）

貯水池に水を排出し続けている姿は富が絶えず流れ込むことを象徴しているそうです。夜には放水が止まり、朝にまた放水が始まるようです。放水時間には幅がありました。



マーライオン



正面



ミニ ver.



シンガポールには6体のマーライオンがいるらしい！

シンガポール・フライヤー

シンガポールに住んでいる人はあまり乗らないらしいです。カプセルには種類があり、一般用は中にベンチがあるくらいですが、飲食ができたり、パーティができそうなカプセルも存在していました。



マリーナベイ・サンズと共に



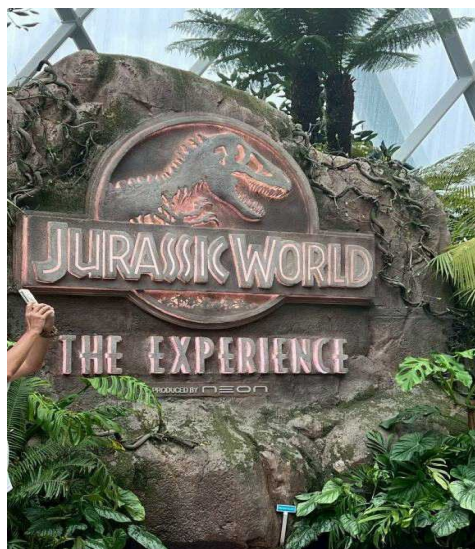
Singapore Flyer

ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ

ガラスドームが2つあり、大きいほうは「クラウドフォレスト」といい、人口の山と流れ落ちる滝がありました。そしてミスト噴射によって作られた雲がこの人工の山を取り巻いています。僕が行ったときにはジュラシックワールドとコラボしていました。小さいほうは「フラワードーム」といい、暖かな春の陽気が再現されています。ドーム中央部には、世界中の花々を集めた大花壇「フラワー・フィールド」があり、飽きることがありませんでした。



巨大な滝



コラボ！



スーパーツリー



フラワー・フィールド

バードパラダイス

アジア最大の鳥類園で、17ヘクタールの敷地には合計400種3,500羽以上の鳥類が飼育されていました。バードショーも行っており、とても近い距離で様々な鳥たちを見ることができました。ショップも商品が充実してお土産には困ることはありません。



買ったお土産



バードショーの円形劇場

まとめ

調査を終えての感想

とっても楽しかったです。特にガーデンズ・バイ・ザ・ベイは印象に残っていることが多く、温室と言っているのに涼しかったり、巨大な滝の上から見下ろした時の景色、いきなり恐竜が出てきたときの驚きと興奮は今でも忘れられません。

日本との違いを感じたこと

観光名所だけではないのですが、日本より食事の量が多かったり、動物は大きく、迫力があり、虫は小さく、あまり見かけませんでした。バードパラダイスやガーデンズ・バイ・ザ・ベイではその迫力を味わうことができました。あとは物価が日本よりすこし高いと感じました。

おわりに

シンガポールへの派遣の感想や思い出深い出来事経験したこと全てが新鮮で面白かったと思っています。その中で特に何が印象に残っているかというとなっばりガーデンズ・バイ・ザ・ベイとバードパラダイスになるんですよね。日本にもあのような場所があるのかもしれませんが、規模が大きく壮大で、シンガポールに誰かが訪れる際には猛烈にこの2つの場所に行くことをおすすめします。本当に最高なんですよ！シンガポールにも日本のお店や商品がたくさんあって、すき家はとても人気でした！



シンガポールへの派遣を通して学んだことと、それをこれからの生活にどう活かしていきたいか僕はこの事業を通して、たくさんのことを経験し、学びました。そのなかでも、「他の人の気持ちを理解しようとすることを諦めてはいけない」ということが一番の学びだと考えています。何故なら、これを諦めるということは、その人を外見だけで決めつけようとしていることと同じだと思うからです。実際、僕のホストファミリーも僕の好きなラクサという料理のカップラーメンをお土産として渡してくれました。おいしかったです。ふだんもこの姿勢を崩さないことで、相手との関係も深めていけると思います。ですが、相手の事情に入り込もうとしすぎるのは注意したい点です。

自分が成長したと思うこと

周りを前よりも客観的に冷静に考えて、その場面ごとに適当な行動をできるようになったと僕は思います。

守屋廣忠

